

No. 562
2018年
5月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 2018年度支部紹介

*各支部の詳細は学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/organization.html>をご覧ください。

・北海道支部

支 部 長：川村秀憲（北海道大学）
支部事務局：横山想一郎（北海道大学）

・東北支部

支 部 長：中山 明（福島大学）
支部事務局：鈴木賢一（東北大学）

・中部支部

支 部 長：茨木 智（名古屋市立大学）
支部事務局：(株)シグマフィールド

・関西支部

支 部 長：森田 浩（大阪大学）
支部事務局：梅谷俊治（大阪大学）

・中国・四国支部

支 部 長：土肥 正（広島大学）
支部事務局：岡村寛之（広島大学）
齋藤靖洋（海上保安大学校）

・九州支部

支 部 長：平山克己（北九州市立大学）
支部事務局：来嶋秀治（九州大学）

● 第7回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第7回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

提出書類：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれ

かの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦締切：2018年9月30日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

*受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2019年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

*「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf>

をご覧ください。

● 2018年秋季シンポジウム（第79回）

日 程：2018年9月5日（水）

場 所：名古屋市立大学

実行委員長：茨木 智（名古屋市立大学）

● 2018年秋季研究発表会

日 程：2018年9月6日（木）～7日（金）

場 所：名古屋市立大学

実行委員長：田地宏一（名古屋大学）

● 研究部会・グループ開催案内

〔待ち行列〕

・第275回

日 時：平成30年5月12日（土）14:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館(W) 809号室

テーマと講師：

(1) 「確率的分散投票モデルの合意時間解析」
白髪丈晴（中央大学）

(2) 「SNS上の情報拡散モデルと強相関近似解析」
塩田茂雄（千葉大学）

問合せ先：幹事 フンドック トゥアン（筑波大学）

E-mail: tuan@sk.tsukuba.ac.jp

【評価のOR】

部 会 URL : <https://www.u.tsukuba.ac.jp/~izunaga.yoichi.ga/hyoka/>

・第79回 学生発表会

日 時 : 2018年5月19日(土) 10:30~15:00

場 所 : 筑波大学東京キャンパス5F 557室

問合せ先 : 後藤美香(東京工業大学)

E-mail: goto.m.af@m.titech.ac.jp

【最適化とその応用】

部 会 URL : <http://www.ism.ac.jp/~mirai/opta/index.html>

・第2回

日 時 : 2018年5月12日(土) 13:30~18:00

(開場は13:00頃)

会 場 : 中央大学後樂園キャンパス3号館3階
3300号室

テーマと講師 :

(1) 「森林資源管理と数値計画法」

吉本 敦氏(統計数理研究所モデリング研究系)

森林資源管理において、森林を「いつ、どこから、どのくらい」採取するかを決めることは、古くから取り組まれてきました主要な課題の一つです。このような意思決定をサポートするツールとして、資源の採取量あるいはそこから得られる利益の最大化と言った資源管理の目的に対して、与えられた条件下で最適な採取量・方法の在り方を探索できる最適化モデルが構築されてきました。そして、地域的な政策や経済的な要求に対応すべく広くその開発・応用がすすめられてきました。特に、最適な時空間的配置を考慮した管理の探索ができる整数計画法は、大規模な資源開発、あるいは土地利用の変化に伴う環境への負荷を評価するアプローチとして注目されています。例えば、空間的に隣接し合う土地の利用を同時期に行うことができないという条件を加えることで、利用が空間的に分散され、大規模な利用の創出を避けることができます。また、老齢林を取り囲む林地の集約化により生態系保護も達成しながら、資源の管理を展開することができます。本発表では、これまでに開発されて来ましたが最適化モデルを紹介するとともに、最近の研究成果を報告いたします。

(2) 「樹木園種別構成問題に現れる錐最適化問題への効率的な解法の構築」

山下 真氏(東京工業大学情報理工学院数理・計算科学系)

樹木園の設計段階では、複数の遺伝子候補の中からどのように遺伝子を選抜するか、という種別構成問題が重要な最適化問題として需要があります。特に、遺伝子の多様性を表す制約式には、錐最適化問題と密接な関係があることが分かってきました。本発表では、種別構成問題についての基本的な数学的性質について触れた後、数値最適化アプローチに基づいた効率的な解法を紹介していきます。本発表は、Tim Mullin氏、Sena Safarina氏らとの共同研究の内容を含みます。

問合せ先 : 幹事 田中未来(統計数理研究所)

E-mail: mirai@ism.ac.jp

● 新宿OR研究会

【第378回】

日 時 : 2018年5月15日(火) 12:00~14:00

講 師 : 久芳頼正氏(足利大学工学部システム情報分野)

テーマ : 「ロボット関連技術の教育について」

場 所 : OR学会事務局会議室

(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費 : 2,000円(昼食代を含みます。事前にメールにてお申し込みください。)

詳 細 : <http://www.orsj.or.jp/activity/others.html>

問合せ先 : 日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

【第379回】

日 時 : 2018年6月19日(火) 12:00~14:00

講 師 : 中野一夫氏((株)構造計画研究所シニアフェロー)

テーマ : 「IoT時代のものづくり 現場力を戦略に！
日本型インダストリー4.0をめざして」

その他, 上記と同様

【第380回】

日 時 : 2018年7月17日(火) 12:00~14:00

講 師 : 石井儀光氏(国立研究開発法人建築研究所)

テーマ : 「地理情報の可視化」

その他, 上記と同様

● 他学協会協賛案内

* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問い合わせください。

・日本信頼性学会第26回春季信頼性シンポジウム

日 程：2018年6月4日（月）

場 所：日本科学技術連盟 東高円寺ビル（東京都杉並区）

主 催：日本信頼性学会

参加費：日本信頼性学会会員価格に準ずる

WEB：http://www.reaj.jp/

・PACIS2018主催記念特別全国研究発表大会

日 程：2018年6月28日（木）、29日（金）

場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー

主 催：一般社団法人経営情報学会

参加費：一般社団法人経営情報学会会員価格に準ずる

WEB：http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2018_kinen/index.html

・第48回信頼性・保全性シンポジウム

日 程：2018年7月19日（木）、20日（金）

場 所：日本教育会館（東京都千代田区一ツ橋）

主 催：一般財団法人日本科学技術連盟

WEB：http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/48rms

・スケジューリング・シンポジウム2018

日 程：2018年9月20日（木）、21日（金）

場 所：小樽商科大学（北海道小樽市緑3-5-21）

主 催：スケジューリング学会

参加費：スケジューリング学会会員価格に準ずる

WEB：http://www.scheduling.jp/symposium/2018/

● 公募案内

* 詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。

・鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻教員

募集人員：助教1名

所 属：社会基盤工学専攻社会経営工学講座

専門分野：社会システム工学、統計科学、情報科学

担当授業科目：応用システム工学実験、社会調査プロジェクト、プログラミング演習等の専門科目、および数学に関する基礎科目

応募資格：

- (1) 博士の学位を有する、または着任時までに取得の見込みであり、博士前期および博士後期課程の教育・研究指導補助業務を担当できること
- (2) 統計科学や情報科学の技術を用いたデータ解析（機械学習、IoT、センシングデータ解析）と実社会のシステムやサービスへの応用について理論ならびに実証の双方から研究を遂行できること
- (3) 行政、民間、住民組織等との連携プロジェクトなどに積極的に参加できること

着任時期：2018年10月1日（予定）

提出書類：(1) 履歴書（様式1）、(2) 教育歴（様式2）、(3) 研究歴（様式3）、(4) その他の活動歴（様式4）、(5) 着任後の抱負（様式5）、(6) 研究業績リスト（様式6-1）、(7) 所見を伺える方の照会先（2名）または推薦状（2通）（様式7）、(8) 主要な査読付き学術論文の別刷り（コピー可）3編程度

応募締切：2018年5月31日（木）

選考方法：専攻内選考〔一次：書類審査、二次：面接（プレゼンテーションを含む）〕および研究科内選考

書類提出先および問い合わせ先：

〒680-8552 鳥取市湖山町南4-101

鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻

社会経営工学講座 星川淑子

TEL: 0857-31-5317 FAX: 0857-31-0882

E-mail: hoshikawa@sse.tottori-u.ac.jp

* 封筒表面に「教員（社会経営）応募書類在中」と朱書し、簡易書留郵便または宅急便にて送付してください。

* なお、原則として提出書類は返却しませんのでご了承ください。

その他：

- (1) 公募の詳細については、必ず以下の鳥取大学ホームページを参照してください。http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html
- (2) 鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。また、鳥取大学および鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

● 新入会員 (2018年4月理事会承認分)

—賛助会員A種—

大和証券投資信託委託(株)

—正会員—

荒川 俊也 愛知工科大学 (中部支部)
 出水 宰 (株)NTTドコモ
 長谷 賢治 国立沼津高専 (中部支部)
 齊藤 裕 パナック(株)
 藤田 邦彦 文京学院大学
 鳴谷 あゆみ 東京ガス(株)
 今井 義弥 (株)NTTデータ数理システム
 高橋 泰 (株)日立製作所

—学生会員—

佐藤 良亮 東京大学
 渡邊 一生 上智大学
 東 恵実 中央大学
 溝渕 秀之 東海大学
 高橋 亮平 東海大学
 中嶋 健太 東海大学

寺田 玲美 東海大学
 厚木 麻里 東海大学
 川崎 香織 東海大学
 山田 紗弥 東海大学
 大和 宏樹 東海大学
 田辺 倫太郎 東海大学
 嶋田 幸乃 東海大学
 雨宮 七彩 東海大学
 須田 泰珠 東海大学
 鏡 尚樹 東海大学
 崎山 奨 東海大学
 松本 翔太 電気通信大学
 岡村 なつ希 成蹊大学
 仲川 諒馬 京都大学
 君塚 柁貴 東京工業大学
 田村 健 成蹊大学
 師岡 龍生 成蹊大学
 山口 達也 京都大学 (関西支部)
 橋本 進 東京工業大学
 福岡 和也 京都大学 (関西支部)
 張 佳宝 名古屋大学 (中部支部)
 鳴原 遼人 中央大学

* 支部表記のない方は本部所属です.

ORに関するお薦め図書の情報をお寄せください

本学会広報委員会ではORに関する情報発信を強化するため、学会ホームページをはじめとした情報基盤を拡充するためのプロジェクトを進めています。その一環としてORに関連する図書の情報を集め、ORの実践や学習・研究などに資する場を提供します。

第一弾としまして、広報用のTwitterアカウント【URL】https://twitter.com/orsj_pr_devもしくは



において、ORの図書情報を収集し、集められた情報を当Twitterおよび機関誌などで発信していく予定です。

お薦め図書の情報について随時募集も行っています。書誌情報やコメントを以下の1., 2.いずれかの方法でお寄せください。

1. Twitterでツイート：

個人の公開Twitterアカウントにてハッシュタグ#OR本を付けてツイート。

2. Googleフォームから入力：

【URL】<https://goo.gl/forms/vSq221015kaLguby2>もしくは



にて図書情報を入力（アンケート形式）し送信。

いずれの場合もお寄せいただいた情報は上記Twitterアカウントにて公開されます。なお2.の場合、Googleフォームから入力された情報はそのまま1.と同一のTwitterアカウントに転送されます（ハッシュタグは不要です）。ただしTwitterの文字制限（140字以内）を超える場合、2つ以上のツイートに自動的に分解されます。またお寄せいただいた情報は、不定期に学会HP、機関誌などで紹介させていただく場合があります。

本件問い合わせ先：日本OR学会広報委員会内 E-mail: or-review@orsj.or.jp

2018年度年会費納入のお願い

2018年度（2018年3月1日～2019年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの支払取扱票は、2018年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1124744
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
シヤ）ニホンオペレーションズリサーチ
ガツカイ

郵便振替口座 00190-6-79492
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）（店番号019）
当座 0079492
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担でお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請/承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

OR学会創立記念日のお知らせ

5月23日（水）

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2018年1月22日に「2018年度年会費」を引き落としさせていただきました。

2018年3月ご卒業の学生会員の方へ

1) **ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先/自宅）および、OR誌送付先（所属先/自宅）を事務局にお知らせください。

2018年度の会費はそのままです。2018年11月に2019年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) **退会希望の方へ**

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

①WEBからの入会申込み

②入会金600円のお振込み

③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。